

(様式4)  
令和7年5月30日

## 令和7年度 大阪市立東三国中学校 第1回 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立東三国中学校

校園長名 羽田 佳弘

日 時	令和7年5月19日（月）18：30～19：35（1時間05分）	
場 所	大阪市立東三国中学校 北館2階図書館	
出席者	委員など	〔委員〕楠浦裕子、岡由美、川野永二、西村浩一、辻本啓二、亀村公義、大西美佐子、橋場由見子 〔オブザーバー〕竹本弥生（東三国小学校校長）、岩井 伸夫（新東三国小学校校長）
	校園	〔校長〕羽田佳弘、〔教頭〕濱田良一
	区役所	〔こども教育担当課長〕矢野雅治、〔市民協働課担当係長〕山田真一
議題	<ul style="list-style-type: none"><li>○学校の現状について</li><li>○令和7年度「運営に関する計画」について</li><li>○質疑応答</li></ul>	
協議要旨	<p>協議の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○議案に入る前に、各委員から自己紹介を行う。</li><li>○学校長挨拶</li><li>○学校の現状について、教頭より説明を行う。<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒が落ち着いた状態で学習や行事等に取り組んでいる。問題行動も少なく、生徒が安心して学校生活を送っている。</li><li>・3年生も修学旅行を終え、20日（火）から1年生は一泊移住へ出発する。</li><li>・学力や体力・運動能力の向上についても全国・大阪府の平均を上回ったり、平均値に近いものとなっている。</li><li>・欠席しがちな生徒や不登校傾向のある生徒が減少したとはいえない一定数いることの報告。</li><li>・特別支援学級について報告。</li><li>・中国からの編入が増えていることの報告。</li></ul></li><li>(質疑) 日本語がわからない生徒の授業はどうしているのか？</li><li>○学校長から「令和7年度運営に関する計画」の説明を行い、賛同をいただく。</li><li>・学校長より令和7年度「運営に関する計画」の変更点の説明を行う。</li></ul>	<p>意見の概要</p> <p>【意見等の概要】</p> <p>→まず淀中学校のプレクラスと淡路中学校での日本語指導を行っている。徐々に日本語を習得していっている。</p> <p>大阪市教育委員会からの指示をもとに、昨年度の様々な調</p>

	<p>○各委員よりコメントをいただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外からの編入生が増えていることから、先生も指導等大変だろうが、頑張ってほしい。</li> <li>・子どもたちが学習者端末を使用することで、漢字や文章の習得に不安がある。日本語を丁寧に教えてもらいたい。</li> <li>・学習端末にアプリを入れることができない、と聞いた。不便だと感じた。</li> <li>・教職員の残業時間について、1日5時間でも100時間は超えるので、びっくりしている。一般企業ではありえない。</li> <li>・いじめがいけないと考える生徒の割合が100%をめざしてほしい。</li> <li>・自分の子どもは中学3年で、学校へ行くのが楽しく、先生が好きだ、と言っている。そろそろ進路のことがめじろ押しになってくる。</li> <li>・不登校の定義は？</li> <li>・端末の使用により、美しい日本語の習得が気になっているという意見は理解できる。北欧ではICTの取り組みをやめている。本や活字、行間を読み取る力をつけてもらいたい。</li> <li>・来年度以降の特別支援学級在籍生徒がどうなつていくのだろうか。</li> <li>・特別支援学級にはたくさんの先生が入り込みをしているのか。</li> </ul>	<p>査やアンケートの結果等を踏まえて、年度目標や指標の数値を設定した。「安全・安心な教育の推進」、「未来を切り拓く学力・体力の向上」、「学びを支える教育環境の充実」の3つの最重要目標にもとづき、今年度の最終目標を見据え、今年度も取り組んでいく。</p> <p>→5/23(金)に「いじめ・命について考える日」を設定し、全校生徒で取り組むことになっている。</p> <p>→保護者の方には、高校受験の出願がオンラインになり、学校へ行くのは試験の日だけになるので、学校へいってもらいたい。そして、自分に合った、行きたいと思う学校を選んでもらいたい。</p> <p>→病気などで休む生徒もいるが、30日以上が基準となる。</p> <p>→大阪市教育委員会の指示により、東三国小学校が令和8年度、新東三国小学校が令和9年度、東三国中学校が令和10年度からの通級学級が始まる。本校は2年遅れることになる。</p> <p>→教科によっては抽出して指導をしている。また、特別支援サポーターの授業への入り込みも行っている。</p>
--	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業を2年生と1年生がたて割りで行っているのは素晴らしいと思う。小学校の登校時に、中学生があいさつをしてくれている。</li> <li>・小学生と中学生の学習度合いが違うのを改めて感じた。</li> <li>・ICT のご意見が出ていたが、ICT は使い方次第だと感じる。</li> <li>・様々な事柄について、しっかり判断ができる人間を育てていかないといけないと感じている。</li> <li>・昨今の現状を見ていて、給食では米飯は出ているのか？</li> </ul>	→週に3回以上は出ている。
協議資料	<p>&lt;学校配付資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度「運営に関する計画」</li> </ul>	
備考	<p>傍聴者[ 0 ]名</p>	